



フィルムコミッション事業

■松本市内ロケ2作品が、新たに松本シネマに認定！

松本市が主なロケ地となった、2本の映画作品「流浪の月」と「太陽とボレロ」が、このたび松本の観光振興に寄与する『松本シネマ』に認定されました。

「流浪の月」は、5月13日、「太陽とボレロ」は6月3日に松本市内をはじめ全国で公開されました。



©2022「太陽とボレロ」製作委員会

5月10日には、信毎メディアガーデンで、「太陽とボレロ」主演の檀れいさんと監督・脚本の水谷豊さんが登壇し、キックオフイベントで映画のPRを行いました。当日は松商学園高校吹奏楽部が、劇中でも使用される「ボレロ」を披露。お二人からは、「撮影の際に松本の方々にたくさん協力いただいた」「松本の美しい風景がいっぱい詰まった映画。」とお話がありました。この日の夜には、松本シネマライツで、松本シネマ認定式も行われ、臥雲義尚松本市長から檀れいさんに認定証が授与されました。

一方、翌日11日は、「流浪の月」の松本シネマ認定式が同じく松本シネマライツで行われ、監督の李相日さんと主人公



©2022「流浪の月」製作委員会

の子ども時代を演じた白鳥玉季さんが登壇しました。お二人からは、「ロケの際には、コロナ禍にも関わらず、市民が暖かく迎えてくれた。松本の空気が映画に大きな力を与えてくれた」と話がありました。

海外誘客促進事業

■善光寺街道を歩く5日間の旅行がツアー催行されました

前年度に旅行会社を招聘し、善光寺御開帳に合わせ着地型旅行商品を造成した「善光寺街道を歩く5日間」のツアーが無事催行されました。

遠くは広島県のお客様4名を中心に東京、神奈川、千葉のお客様を併せ7名の方が参加されました。

松本宿では当協会職員が本町4丁目にある本陣跡や御使者宿跡、源池の井戸、ヒカリヤなどを約2時間半案内し、街道歩きを満喫していただきました。



ツアー参加者の皆さん

翌日からはバスや列車も利用しながら、1日約10km～15km程度を歩き善光寺に無事到着したそうです。御開帳終了後もアルパインツアーサービス社の定番商品として継続して販売して欲しいと願っています。

一般誘客促進事業

■クラフトフェアまつもとが3年ぶりの開催

全国から工芸作家が集う「クラフトフェアまつもと2022」が3年ぶりに開催されました。



クラフトフェアまつもと

フェアは、市内で開かれている「工芸の五月」のメイン事業として開催され、会場のあがたの森公園を中心に、市内各所で行われた関連イベントでは、心待ちにしていた全国からのファンでにぎわいました。

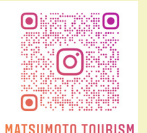
松本の街全体が、賑わいを取り戻した様子を感じられ、これからのウイズコロナの時代のイベントの可能性を期待させるものでした。

会員募集中

松本観光コンベンション協会では松本市の観光とコンベンションの振興にともに取り組んでいただける会員を募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

観光・コンベンションに関する情報は
一般社団法人 松本観光コンベンション協会
〒390-0874 松本市大手 3-8-13 松本市役所大手事務所 1F
TEL0263-34-3295 FAX0263-39-7320
ホームページ公開中
<http://www.matsumoto-tca.or.jp/>

* Instagram 更新中。協会ならではの松本情報を発信しています。ぜひフォローお願いします。



MATSUMOTO.TOURISM